



当社の整備場の様子

- 本社所在地：東京都日野市
- 事業概要：商用車を中心とした整備、塗装、車両販売、特装車レンタル・運送事業
- 常時使用する従業員：52名
(2026年6月時点)
- 現在の売上高：19億円
(2026年6月期)
- 法人番号：9013401000261
- Web：https://komatsusharyo.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小松 英二

買って安心、乗って安心。あなたの車の安心・安全を約束

当社は創業以来、都市インフラと物流を担う商用車・特装車の総合整備・板金塗装・架装を一貫して手掛け、首都圏の輸送基盤を支えてまいりました。現在、輸送業界は物流2024年問題への対応として16～18m級超大型トレーラーダンプの導入を急速に進めています。同時に、国交省の監査厳格化に伴い、3ヶ月法定点検の確実な履行と車両稼働停止（ダウンタイム）ゼロを実現する「予防整備」の重要性が極めて高まっています。当社は多摩地域初となる超大型塗装ブースを備えた工業団地新工場を建設し、不足する広域受入インフラを確立します。特装車レンタルや広域M&Aを通じたワンストップ体制を整え、持続的な賃上げと高度人材育成を実現しつつ、2035年に売上高100億円を達成することをここに宣言いたします。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円を達成する。単なる受託整備業の枠を超え、超大型・特装車両の受入インフラ、車両循環サービス、および広域ネットワークを兼ね備えた「商用車総合ソリューション企業」へと進化。高付加価値化とデジタル・人材基盤の強化による生産性革命を通じて、非連続な飛躍的成長を実現する。

課題

- ・現本社の敷地・ピット制約により、需要が急増する16～18m級超大型トレーラーや特装車の受入・短納期対応が困難である。
- ・法規制厳格化に伴う3ヶ月点検・予防整備への需要集中に対し、工程管理の属人化と在庫キャパシティ不足による機会損失が発生している。
- ・整備士不足が進む中、外国人材の早期戦力化・国家資格取得支援、および熟練架装・板金技術の標準化・多言語化が急務である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・工業団地内への新工場建設と多摩地域初となる大型塗装ブース・天井クレーン等の導入する。連結状態での一括塗装や重架装を完全内製化し、工期を半減して顧客の車両休車期間を最小化。
- ・3ヶ月法定点検データを基点とした計画入庫管理を導入。定期点検・重整備・車検のピット工程を平準化し、突発事故・故障を未然に防ぐ予防整備モデルを推進。
- ・多言語対応動画マニュアルを整備し、外国人材の国家資格取得を全社支援。タブレット端末によるピット進捗管理を徹底し、全社生産性を引き上げる。

実施体制

- 社内体制
 - ・代表取締役および取締役を中心とした100億円ビジョン推進プロジェクト体制の構築
 - ・整備・塗装・架装・販売各部門の現場責任者の育成と外国人従業員向けOJT・整備士資格取得支援の強化
- 社外体制
 - ・商用車ディーラー・車体メーカーとの指定工場提携の強化
 - ・金融機関および外部専門家による経営・財務伴走支援の活用